

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース	共通	学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

様々な現場の状況にあったアシスタントとしての心構えを理解し、必要な知識や技術を身に付ける

【学習内容】

アシスタントとしての役割や立ち振る舞いを理解し身に付ける

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具、ノート

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「外人メイク」のテクニックを知り、グループでヘアメイク練習する</p>	9	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「アンティーク」をテーマにグループで練習する</p>
2	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>「外人ヘアメイク」をテーマにグループで70分で仕上げる</p>	10	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「アンティーク」をテーマにグループで70分で仕上げる</p>
3	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「韓国メイク」のテクニックを知り、グループでヘアメイク練習する</p>	11	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「ポップ」をテーマにテーマにグループで練習する</p>
4	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「韓国ヘアメイク」をテーマにグループで70分で仕上げる</p>	12	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「ポップ」をテーマにテーマにグループで70分で仕上げる</p>
5	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「ドール」をテーマにグループで練習する</p>	13	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 各グループでテーマと役割を決め、コンセプトシートの作成をする</p>
6	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「ドール」をテーマにグループで70分で仕上げる</p>	14	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 定期試験に向けて練習をする</p>
7	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「花」をテーマにグループで練習する</p>	15	<p>【定期試験内容】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【評価項目とフィードバック】 テーマに合わせてグループでヘアメイクをする(70分)</p>
8	<p>【授業テーマ】 様々な現場を想定し、ヘアメイクをする</p> <p>【到達目標】 「花」をテーマにグループで70分で仕上げる 間チェック</p>		<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	スキルアップメイク・エアブラシ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	実習	総時間数	21 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで寄与。その間に化粧品検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。						

【授業を通じての到達目標】

エアブラシを活用したメイク技術を習得し、プロとしてお客様へ幅広いメイク提案が出来る知識と技術を高める。□  
□

【学習内容】

エアブラシメイクの特徴を理解し、基本的な使い方を習得する  
イメージに合ったメイクを、知識と技術を活かし表現する□

【使用教科書・教材・参考図書】

エアブラシ機器   メイク落とし   メイク道具   テッシュ   コットン・綿棒   水差  
し                    タオル                    ビニール袋                    筆記用具

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】	9	【授業テーマ】 11/16 ～オリエンテーション～この授業の目的と到達目標の確認 エアブラシメイクの誕生～経緯、及び特徴を理解□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシ機器の特徴を理解する 始業前後の準備及び身だしなみについて理解する□ □
2	【授業テーマ】	10	【授業テーマ】 11/23 エアブラシファンデーションの特徴、及び肌色に合った色作り□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用ファンデーションの特徴・ファンデーションの色の出し方を習得する□ □
3	【授業テーマ】	11	【授業テーマ】 12/7 エアブラシ チーク/ハイライトの入れ方と色作り□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用チーク/ハイライトの色の出し方を習得する□ □
4	【授業テーマ】	12	【授業テーマ】 12/14 エアブラシ アイブロウ・リップの入れ方と色作り□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックス、ステンシルを使いアイブロウ・リップの描き方を習得する□ □
5	【授業テーマ】	13	【授業テーマ】 1/25 アイシャドウの入れ方と色の出し方□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックスで色を作り、イメージに合わせたアイシャドウの入れ方を習得する□ □
6	【授業テーマ】 運動会	14	【授業テーマ】 2/1 相モデルのイメージに合わせたコンセプトシート作成□
	【到達目標】		【到達目標】 小テスト:10 イメージの合わせたトータルメイクを相モデルで仕上げる□ □
7	【授業テーマ】	15	【定期試験内容】 2/8 定期試験: 50点
	【到達目標】		【評価項目とフィードバック】 エアブラシメイクの基本的な知識と技術を活かし、 コンセプトシートに合わせイメージにあった仕上がりの確認□
8	【授業テーマ】		【成績評価の方法と基準】
	【到達目標】		●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導

講義シラバス

科目名	サロンワーク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	2年生		
講師名	伊藤 丈晴	講師プロフィール	美容室Orque(オルク)、Orque deux(オルクドゥ)、L's Garden(エルズガーデン)、Nail&Eyelash Chaton(シャトン)オーナー。2020 BEST SALON GOLD Prize受賞						
【授業を通じての到達目標】 職業人としての自立を目指し、美容師に必要な専門技術・知識を身に付ける									
【学習内容】 サイドシャンプー、バックシャンプー、ブロー、カラーなどの美容室での基本的な技術の習得									
【使用教科書・教材・参考図書】 ・シャンプー道具一式 ・カラー道具一式					【授業時間外における学習】				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 ～サイドシャンプー～シャンプーをするまで  【到達目標】 ・シャンプーの事前準備 ・プレリンスの理解 ・プレリンス工程の理解<ウイッグ、人頭モデル>				9	【授業テーマ】 ～カラー～ホイルワーク  【到達目標】 ・ホイルワークの理論とテクニックを理解する			
2	【授業テーマ】 ～サイドシャンプー～シャンプー工程  【到達目標】 ・シャンプーの事前準備 ・シャンプーマニュアルの理解 ・シャンプー工程の理解<ウイッグ、人頭モデル>				10	【授業テーマ】 ～カラー～ブリーチを使ってのデザインカラー  【到達目標】 ・グラデーションカラーの施術を理解する			
3	【授業テーマ】 ～サイドシャンプー～気持ちのいいシャンプー  【到達目標】 ・しっかりしたお客様への接客待遇 ・相モデルを通じてお客様の気持ちを理解する				11	【授業テーマ】 ～カット～前髪カット  【到達目標】 ・前髪カットによる印象の違い ・顔型と髪形の似合わせの理解			
4	【授業テーマ】 ～カラー～カラー理論と基本的な塗り方  【到達目標】 ・カラーリングの理論と技術、刷毛の使い方を理解する				12	～バックシャンプー～復習  【到達目標】 ・シャンプー工程の理解			
5	【授業テーマ】 ～カラー～カラー剤を使っての全体カラー  【到達目標】 ・刷毛の使い方を確認しながら前頭ワンメイクを理解する				13	【授業テーマ】 ～バックシャンプー～2シャンプー  【到達目標】 ツースタンプ工程の理解<15分>			
6	【授業テーマ】 ～バックシャンプー～プレリンス、シャンプー工程  【到達目標】 ・シャンプーの事前準備 ・シャンプーマニュアルの理解 ・シャンプー工程の理解<ウイッグ、人頭モデル>				14	【授業テーマ】 ～バックシャンプー～テスト前  【到達目標】 ・定期試験の説明、準備、最終チェック			
7	【授業テーマ】 ～バックシャンプー～気持ちのいいシャンプー  【到達目標】 ・しっかりしたお客様への接客待遇 ・相モデルを通じてお客様の気持ちを理解する				15	【定期試験内容】 ～バックシャンプー～2シャンプー  【評価項目とフィードバック】 ・声かけ ・プレリンス、シャンプー手順 ・姿勢 ・タイム ・ターバン			
8	【授業テーマ】 ～バックシャンプー～シャンプー工程、ヘッドスパ  【到達目標】 ・しっかりしたお客様への接客待遇 ・ヘッドスパ、頭ツボの知識導入 ・中間チェック				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】 ・忘れ物に気を付けて、なるべく休まずに授業に取り組んで欲しいです。									

講義シラバス

科目名	ブライダル応用	必修 選択の別	選択	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	実習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ブライダルコース	学年	2年生		
講師名	藤 なつき	講師プロフィール	札幌ベルエッポック専門学校をブライダルコース、美容師通信課程卒業。道外のサロンで美容師業、ヘアメイク、テレビ局を経験。札幌に戻りブライダル会社にてヘアメイク、コーディネーターとして勤務。現在、フリーランスヘアメイクとして婚礼、撮影をメインに働いております。						
【授業を通じての到達目標】									
1、ドレスのメンテナンスができるようになる。 2、時間を意識してヘアメイクができるようになる。 3、和装の知識を増やす。									
【学習内容】									
ドレスのフィッティング、メンテナンスができるようになる。時間を意識して作業ができるようになる。和装の細かい柄などをわかるようになる。									
筆記用具、ヘアメイク道具一式、ノート、ファイル					【授業時間外における学習】				
					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 お留袖にあわせたヘアセットをする。(相モデル)								
	【到達目標】 年齢や留袖の柄をみて似合うヘアを作れるようになる。								
2	【授業テーマ】 お振袖に合わせたヘアセットをする。(相モデル)								
	【到達目標】 成人式の時にやってほしいヘアをオーダーしてもらい作れるようになる。								
3	【授業テーマ】 色打掛に合うヘアメイクができるようになる。(相モデル)								
	【到達目標】 色打掛のボリューム感に合うヘアメイクができるようになる。								
4	【授業テーマ】 1人目 3人1組でブライダルヘアメイクを仕上げる。お色直しの時のポイントを知る。(相モデル・ドレス着用)								
	【到達目標】 ヘア、メイクで協力してヘアメイクができるようになる。お色直しの時間を短縮する								
5	【授業テーマ】 2人目 3人1組でブライダルヘアメイクを仕上げる。お色直しの時のポイントを知る。(相モデル・ドレス着用)								
	【到達目標】 ヘア、メイクで協力してヘアメイクができるようになる。お色直しの時間を短縮する								
6	【授業テーマ】 3人目 3人1組でブライダルヘアメイクを仕上げる。お色直しの時のポイントを知る。(相モデル・ドレス着用)								
	【到達目標】 ヘア、メイクで協力してヘアメイクができるようになる。お色直しの時間を短縮する								
7	【定期試験内容】 1人目 ブライダルヘアメイク(相モデル・ドレス着用)								
	【評価項目とフィードバック】 時間意識しヘアメイク、ドレスフィッティング、お色直しまで仕上げる。								
8	【定期試験内容】 2人目 ブライダルヘアメイク(相モデル・ドレス着用)					【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
	【評価項目とフィードバック】 時間意識しヘアメイク、ドレスフィッティング、お色直しまで仕上げる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
事前準備、机上整理、忘れ物減点あり									

講義シラバス

科目名	修正ヘアメイク	必修 選択の別	選択	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

さまざまな骨格に合わせて修正メイクが出来るようになる

【学習内容】

骨格を理解しメイクすることができる

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解する	9	【授業テーマ】
	【到達目標】 様々な骨格に合わせた、ゴールデンプロポーションを理解しベースメイクで出来る修正メイクを学ぶ		【到達目標】
2	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解する	10	【授業テーマ】
	【到達目標】 骨格を分析し、ゴールデンプロポーションに近づけるポイントメイクの仕方を学ぶ		【到達目標】
3	【授業テーマ】 コントロールカラーを使い、肌の色を補正する	11	【授業テーマ】
	【到達目標】 様々な色のコントロールカラーを使用し、コントロールカラーの効果を理解する		【到達目標】
4	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解する	12	【授業テーマ】
	【到達目標】 今まで学んだことを復習し、骨格に合わせてメイクする		【到達目標】
5	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解する	13	【授業テーマ】
	【到達目標】 今まで学んだことを活かし、コンプレックスをカバーするメイクテクニックを学ぶ		【到達目標】
6	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解した上で修正メイクをする(テスト練習)	14	【授業テーマ】
	【到達目標】 骨格を分析し、なりたい顔に修正メイクをする		【到達目標】
7	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解した上で修正メイクをする(テスト1組目)	15	【定期試験内容】
	【到達目標】 骨格を分析し、なりたい顔に合わせてメイクする		【評価項目とフィードバック】
8	【授業テーマ】 顔分析をし、様々な骨格を理解した上で修正メイクをする(テスト2組目)	【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
	【到達目標】 骨格を分析し、なりたい顔に合わせてメイクする		

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	着付け	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	実習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース	共通	学年	2年生		
講師名	安達 奈美	講師プロフィール	美容歴27年。美容室勤務4年の後ブライダルサロンチュチュにてブライダルヘアメイクを担当。現在はフリーランスでヘアメイク、着付けを続けながら2017年サロン「プリランテ」をオープンし着付け、ヘアメイクレッスンを開講。ベルエポックでは10年前から授業をもち着付けの技術をメインに指導						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダルサロンやヘアメイクの現場に必要なマナーや第一礼装の技術を取得する お客様にとって特別な一日を想定し、責任感とモチベーションコントロールの力を身に付ける									
【学習内容】									
第一礼装の留袖の着付け お客様に対する挨拶、作業中の声掛け、時間内で綺麗に着付けをする									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
回	授業計画				回	授業計画			
1	<b>【授業テーマ】</b> 第一礼装である振袖の特徴を知ること現場での対応を学ぶ 婚礼にふさわしい笑顔、立ち居振る舞い言葉遣いを意識しお客様の満足度を高める接客を学ぶ <b>【到達目標】</b> 振袖に合わせる小物を覚える 他の着物との違いを確認 重ね襟の合わせ方				9	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
2	<b>【授業テーマ】</b> 現場で求められるマナーと技術を習得する 準備から着付け終了までのイメージトレーニングにより、お客様への気配りを身に付ける <b>【到達目標】</b> 肌着から着物まで着付ける(相モデル) 着付け前の準備に気を配る				10	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
3	<b>【授業テーマ】</b> 現場での仕事の流れを想像し、時間管理の大切さを学ぶ 着付け前準備から終了後の片付けまで、常に見られる事を意識することで美しい動作を身に付ける <b>【到達目標】</b> 肌着から着物までタイムを計って着付ける(15分～20分) 帯結び、変わり帯の結び方				11	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
4	<b>【授業テーマ】</b> 式場やホテルで求められるマナーを学び、現場力を強化する 挙式の時間設定や流れを学ぶ事で、時間管理を明確にする <b>【到達目標】</b> 肌着から着物までを綺麗に着付ける 振袖の帯結び(変わり帯)の手順を覚える				12	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
5	<b>【授業テーマ】</b> 式場やホテルで求められるマナーを学び、現場力を強化する 挙式の時間設定や流れを学ぶ事で、時間管理を明確にする <b>【到達目標】</b> 肌着から帯(変わり)結び お太鼓の大きさや形のポイントをおさえる				13	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
6	<b>【授業テーマ】</b> 婚礼参列者の衣装を知ることにより、現場での仕事の幅を広げる 担当するお客様以外にも目を向け、問題発見や課題対応力を身に付ける <b>【到達目標】</b> 振袖の着付けと帯結びのポイントを学ぶ お太鼓との違いを確認する				14	<b>【授業テーマ】</b>  <b>【到達目標】</b>			
7	<b>【授業テーマ】</b> 婚礼参列者の衣装を知ることにより、現場での仕事の幅を広げる 担当するお客様以外にも目を向け、問題発見や課題対応力を身に付ける <b>【到達目標】</b> 振袖の着付け(衣紋の抜き加減、衿合せ、伊達衿の入れ方) 帯結びのバリエーションを学ぶ				15	<b>【定期試験内容】</b>  <b>【評価項目とフィードバック】</b>			
8	<b>【授業テーマ】</b> 現場でのマナーや技術の振り返りを行う事で仕事に対するイメージを明確にする 帯結びのアレンジ、創作、着物から帯までの総復習 <b>【到達目標】</b> 定期試験 時間管理、接客のポイントを復習し技術に加えホスピタリティマインドを意識し、トータル美容として着付けを完成させる事で、はじめて仕事が成り立つ事を確認する <評価> ・挨拶と立ち居振る舞い ・時間管理と正確さ ・変わり結びのバランス				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
出席・遅刻の厳重管理と指導 道具の整理整頓									

講義シラバス

科目名	スキルアップメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

テーマに沿ったアートメイク、トレンドメイクを表現できる

【学習内容】

様々なテーマに応じたメイクを行う

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】 トレンドに合わせたメイクをする	9	【授業テーマ】
	【到達目標】 トレンドに合わせたメイクが出来るようになる		【到達目標】
2	【授業テーマ】 トレンドに合わせたヘアを作る	10	【授業テーマ】
	【到達目標】 トレンドに合わせたヘアが出来るようになる		【到達目標】
3	【授業テーマ】 トレンドのファッションに合わせたヘアメイクをする	11	【授業テーマ】
	【到達目標】 トレンドのファッションに合わせたヘアメイクが出来るようになる		【到達目標】
4	【授業テーマ】 テーマに合わせたヘアメイクをする	12	【授業テーマ】
	【到達目標】 「舞台メイク」をテーマにヘアメイクをする		【到達目標】
5	【授業テーマ】 テーマに合わせたヘアメイクをする	13	【授業テーマ】
	【到達目標】 「舞台メイク」をテーマにヘアメイクをする		【到達目標】
6	【授業テーマ】 テーマに合わせたヘアメイクをする テスト練習	14	【授業テーマ】
	【到達目標】 「ファンタジー」をテーマにヘアメイクをする		【到達目標】
7	【授業テーマ】 テーマに合わせたヘアメイクをする テスト①	15	【定期試験内容】
	【到達目標】 「ファンタジー」をテーマにヘアメイクをする		【評価項目とフィードバック】
8	【授業テーマ】 テーマに合わせたヘアメイクをする テスト②	【成績評価の方法と基準】	
	【到達目標】 「ファンタジー」をテーマにヘアメイクをする	●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス									
科目名	スタイルブック製作	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース	HM	学年	2年生		
講師名	対馬 友理	講師プロフィール	札幌市内美容室で勤務後、フリーランスヘアメイクとして活躍。 札幌、道内、東京等で、広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b> ヘアメイク、トータルコーディネートをプロデュースし、スタイルブックを製作する。 撮影の際にヘアメイクのトーンや撮影ワークを学ぶ。									
<b>【学習内容】</b> スタイルブックのヘアメイクデザインを考える。 撮影に必要な衣装、小物の選定、スタイルブックの構成や文章を考え自分たちのスタイルブックを作る。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b> メイク道具、ヘア道具一式、筆記用具					<b>【授業時間外における学習】</b> 衣装小物等の準備				
回	授業計画				回	授業計画			
1	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブックのイメージする。トレーニング				9	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> 雑誌の1ページを想定し、テーマに合わせたヘアメイクをする。テキストを考える。					<b>【到達目標】</b> 撮影に向けアメイクトレーニング、ポージング、構成を考える。			
2	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブックのイメージする。トレーニング				10	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> メイク本の1ページを想定し、テーマに合わせたヘアメイクをする。テキストを考える。					<b>【到達目標】</b> 撮影③プロのカメラマンによるシューティング 撮影ワークを学ぶ。			
3	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブックの構成、作成スケジュールを組み立てる。				11	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> スタイルブックの名前や、構成 各部門リーダーを決める。					<b>【到達目標】</b> 撮影に向けアメイクトレーニング、ポージング、構成を考える。			
4	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブックのヘアメイクデザインを考える。				12	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> ページごとの担当と、ヘアメイクデザインを考え、コンセプトシートを作る。					<b>【到達目標】</b> 撮影④プロのカメラマンによるシューティング 撮影ワークを学ぶ。			
5	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。				13	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> 撮影に向けアメイクトレーニング、ポージング、構成を考える。					<b>【到達目標】</b> 写真選定。実際の配置。 テキストを考える。各ページのタイトルや説明の文章を考える。			
6	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。				14	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> 撮影①プロのカメラマンによるシューティング 撮影ワークを学ぶ。					<b>【到達目標】</b> テキスト作成。 作った文章をパソコンに打ち込む。全体最終確認。			
7	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。				15	<b>【定期試験内容】</b> スタイルブック作成する。			
	<b>【到達目標】</b> 撮影に向けアメイクトレーニング、ポージング、構成を考える。					<b>【評価項目とフィードバック】</b> 最終チェック。振り返り。			
8	<b>【授業テーマ】</b> スタイルブック作成する。				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	<b>【到達目標】</b> 撮影②プロのカメラマンによるシューティング 撮影ワークを学ぶ。 中間チェック								
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

講義シラバス

科目名	ヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	21 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

ブローの基礎技術を習得し、必要な技術を身につける

【学習内容】

テーマに合わせたヘアメイクと、ブローの基礎技術を身につける

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク演習道具一式

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】	9	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 ドライヤーを用いて前髪をブローし、相モデルでヘアメイクをする、 ドライヤーを用いてかき上げの前髪を作り、相モデルでヘアメイクをするドライヤーを用いて全頭をブローし、相モデルでヘアメイクをする
2	【授業テーマ】	10	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 ドライヤーを用いて毛先に動きを出し、相モデルでヘアメイクをする
3	【授業テーマ】	11	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 モードをテーマにヘアメイクをする
4	【授業テーマ】	12	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 モードをテーマにヘアメイクをする
5	【授業テーマ】	13	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 テーマを決めて相モデルでヘアメイク練習をする
6	【授業テーマ】	14	【授業テーマ】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【到達目標】 テーマを決めて相モデルでヘアメイク① 定期試験 90分
7	【授業テーマ】	15	【定期試験内容】 ブローの重要性を理解し学ぶ
	【到達目標】		【評価項目とフィードバック】 テーマを決めて相モデルでヘアメイク② 定期試験 90分
8	【授業テーマ】	【成績評価の方法と基準】	
	【到達目標】	<p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク演習	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース	HM	学年	2年生		
講師名	対馬 友理	講師プロフィール	札幌市内美容室で勤務後、フリーランスヘアメイクとして活躍。 札幌、道内、東京等で、広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。						
【授業を通じての到達目標】 雑誌や広告、CMなどを想定し、クライアントやお客様のイメージに合わせたヘアメイクを作ることができる。									
【学習内容】 シーンに合わせたヘアメイクを作り分けることができる。 撮影現場を想定したヘアメイク作りをする。雑誌のテイストを理解しヘアメイクで作り分けることができる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
メイク道具、ヘア道具一式									
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 和装ヘアメイク  【到達目標】 花嫁の白無垢のやり方を見る。 和装の花嫁ヘアメイクを相モデル。				9	【授業テーマ】  【到達目標】			
2	【授業テーマ】 ウエディングドレスヘアメイク  【到達目標】 ドレスの基礎的な着せ方を知る。 ドレスに合うヘアメイクを相モデル。				10	【授業テーマ】  【到達目標】			
3	【授業テーマ】 ビューティー系ヘアメイク  【到達目標】 化粧品会社の広告をイメージしたヘアメイクを相モデル。				11	【授業テーマ】  【到達目標】			
4	【授業テーマ】 ヘアアクセサリーを使ったスタイリング  【到達目標】 アクセサリーピン、リボンを使ったヘアアレンジをする。 ヘアスタイルにあったカラーメイクを相モデル。				12	【授業テーマ】  【到達目標】			
5	【授業テーマ】 ヘアアクセサリーを使ったスタイリング  【到達目標】 スカーフ、帽子を使ったヘアアレンジをする。 ヘアスタイルにあったカラーメイクを相モデル。				13	【授業テーマ】  【到達目標】			
6	【授業テーマ】 ヘアアクセサリーを使ったアート作品  【到達目標】 定期試験に向けてのコンセプトシート、ヘアアクセサリー作り				14	【授業テーマ】  【到達目標】			
7	【授業テーマ】 ヘアアクセサリーを使ったアート作品  【到達目標】 定期試験に向けてのヘアメイク練習				15	【定期試験内容】  【評価項目とフィードバック】			
8	【授業テーマ】 ヘアアクセサリーを使ったアート作品  【到達目標】 定期試験				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	スタイルブック	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ブライダルコース	学年	2年生		
講師名	石川 紗織	講師プロフィール	三景スタジオ退社後、フリーランスでヘアメイクとして転向。 現在はブライダルを中心に、映像作品や広告などのヘアメイクとして活躍。						

【授業を通じての到達目標】

今まで学んできたことを活かし、ブライダルのスタイルブックをプロデュースする技術、発想力を身につける。

【学習内容】

スタイルブックの内容を考え、ヘアメイク、コーディネートをし、撮影する。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式  
筆記用具、色鉛筆、雑誌やPC、iPad

【授業時間外における学習】

ファッション雑誌、ブライダル雑誌を読み、素材を用意しておく

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】 スタイルブックの構成、作成スケジュールを組み立てる。	9	【授業テーマ】 次回撮影のためのヘアメイクトレーニング
	【到達目標】 スタイルブックの内容を決める		【到達目標】 ビジュアルイメージを固め、形にしてみる。 ポージング、構成を決める。
2	【授業テーマ】 スタイルブックのヘアメイクデザイン、コーディネートを考える。	10	【授業テーマ】 スタイルブック撮影④
	【到達目標】 ページ毎の担当を決める ヘアメイクデザインを考え、コンセプトシート作成。		【到達目標】 イメージ通りの作品を作ることが出来る。
3	【授業テーマ】 次回撮影のためのヘアメイクトレーニング	11	【授業テーマ】 スタイルブックを作成する
	【到達目標】 ビジュアルイメージを固め、形にしてみる。 ポージング、構成を決める。		【到達目標】 サブページや小物の撮影、素材作り。 (スマートフォンなどで自分達で撮影)
4	【授業テーマ】 スタイルブック撮影①	12	【授業テーマ】 スタイルブックを作成する
	【到達目標】 イメージ通りの作品を作ることが出来る。		【到達目標】 写真選定、配置決め。 テキストを考える。
5	【授業テーマ】 次回撮影のためのヘアメイクトレーニング	13	【授業テーマ】 スタイルブックを作成する
	【到達目標】 ビジュアルイメージを固め、形にしてみる。 ポージング、構成を決める。		【到達目標】 各ページのタイトルや、説明の文章を決める。
6	【授業テーマ】 スタイルブック撮影②	14	【授業テーマ】 スタイルブックを作成する
	【到達目標】 イメージ通りの作品を作ることが出来る。		【到達目標】 テキスト作成 作った文章をパソコンで打ち込む。 全体最終確認。
7	【授業テーマ】 次回撮影のためのヘアメイクトレーニング	15	【定期試験内容】 スタイルブックを作成する
	【到達目標】 ビジュアルイメージを固め、形にしてみる。 ポージング、構成を決める。		【評価項目とフィードバック】 ・スタイルブックの完成度 ・取り組み
8	【授業テーマ】 スタイルブック撮影③	【成績評価の方法と基準】	
	【到達目標】 イメージ通りの作品を作ることが出来る。	<p>●評価</p> <p>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法</p> <p>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	

【履修に当たっての心構え・留意点】

規則を守って授業に取り組む

講義シラバス

科目名	ブライダルドレス	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	実習	総時間数	21 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	藤 なつき	講師プロフィール	札幌ベルエッポック専門学校をブライダルコース、美容師通信課程卒業。道外のサロンで美容師業、ヘアメイク、テレビ局を経験。札幌に戻りブライダル会社にてヘアメイク、コーディネーターとして勤務。現在、フリーランスヘアメイクとして婚礼、撮影をメインに働いております。						

【授業を通じての到達目標】

1、時間意識してヘアメイクができるようになる。 2、事前準備をしっかりとできるようになる。

【学習内容】

時間を意識し、ヘアメイクを仕上げられるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式

【授業時間外における学習】

1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理

回	授業計画	回	授業計画
1	【授業テーマ】 ブライダルメイク(ツヤ肌)ができるようになる。(相モデル)		
	【到達目標】 花嫁様に必要なツヤ、メリハリのあるベースメイクができるようになる。		
2	【授業テーマ】 トレンドのブライダルヘアを作れるようになる。(ウィッグ)		
	【到達目標】 ブライダルヘアのトレンドを知り何パターンか作れるようになる。		
3	【授業テーマ】 2週目で作ったヘアを人頭で作り写真におさめる。(相モデル)		
	【到達目標】 時間を意識し、クオリティをあげたヘアをつくる。		
4	【授業テーマ】 アイロン巻きを早くできるようになる。(相モデル・ウィッグ)		
	【到達目標】 巻き方の種類を復習し、用途に合わせ早く巻けるようになる。		
5	【授業テーマ】 ブライダルヘアを30分→ヘアチェンジ20分で仕上げられるようになる。(相モデル)		
	【到達目標】 時間意識し時間内に小物までつけ仕上げる。		
6	【授業テーマ】 スタジオ撮影を意識したブライダルメイクができるようになる。(相モデル)		
	【到達目標】 写真うつりを考えメイクができるようになる。		
7	【定期試験内容】 相モデルでブライダルヘアを作り後ろ姿の写真を撮る。(相モデル・ドレス着用or レースの服)		
	【評価項目とフィードバック】 自分の作ったヘアをバランス良く写真にとれるようになる。1年生の時のブライダル基礎のときより成長しているか？		
		【成績評価の方法と基準】	
		<p>●評価</p> <p>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法</p> <p>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	

【履修に当たっての心構え・留意点】

事前準備、机上整理、忘れ物減点あり

講義シラバス

科目名	ブライダルヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
イメージ通りにブライダルヘアメイクを作ることができる									
【学習内容】									
ブライダルヘアメイクの技術を身につける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
ヘアメイク道具一式									
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの仕事を理解する				9	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 ブライダルのヘアメイクの仕事内容を再確認する 授業で使う画像集め					【到達目標】 白無垢→洋装にチェンジする (相モデル) ① (60分) (20分)			
2	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				10	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 ドレスを指定してヘアメイク「ルーズ」or「タイト」(60分以内) ドレスを着用し、写真撮影①					【到達目標】 白無垢→洋装にチェンジする (相モデル) ② (60分) (20分)			
3	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				11	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 ドレスを指定してヘアメイク「ルーズ」or「タイト」(60分以内) ドレスを着用し、写真撮影②					【到達目標】 挙式→お色直しにチェンジする (相モデル) ① (60分) (20分)			
4	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				12	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 和装(白無垢)ヘアメイク(60分以内) 白無垢を着用する①					【到達目標】 挙式→お色直しにチェンジする (相モデル) ② (60分) (20分)			
5	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				13	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 和装(白無垢)ヘアメイク(60分以内) 白無垢を着用する②					【到達目標】 テストのコンセプトシート作成 ドレス選び、練習			
6	【授業テーマ】 ドレスショップの見学				14	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 実際のドレスショップ(アトリエチュリエール)を見学し、ドレスの知識を深める					【到達目標】 ブライダルヘアメイク(定期試験) ① 挙式→お色直し(ドレス着用)			
7	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				15	【定期試験内容】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける			
	【到達目標】 カクテルドレス(寒色系)を指定してヘアメイク(60分以内) カクテルドレス着用① 中間チェック					【評価項目とフィードバック】 ブライダルヘアメイク(定期試験) ② 挙式→お色直し(ドレス着用)			
8	【授業テーマ】 ブライダルヘアメイクの技術を身につける				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	【到達目標】 カクテルドレス(寒色系)を指定してヘアメイク(60分以内) カクテルドレス着用② 中間チェック								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	ブライダル検定対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	講義	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ブライダル	学年	2年生		
講師名	川崎みゆき	講師プロフィール	ウェディングプランナー歴15年以上のキャリアを持ち、海外での経験から欧米ウェディングの知識も豊富。約10年ほど前からブライダルの講師も務める。						
【授業を通じての到達目標】 ABC検定合格およびプロとして必要なブライダルに関する基礎知識を取得・理解する。									
【学習内容】 教科書に沿いながらブライダルの基礎を学ぶ。また過去問題を解きながら検定の傾向と対策を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
回	授業計画			回	授業計画				
1	<b>【授業テーマ】</b> オリエンテーション。検定についての説明。到達目標の確認。結婚の定義について学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 検定についての意味と次回からの授業の心構えを把握する。「結婚とは何か」を定義から学習する。			9	<b>【授業テーマ】</b> お見合い・結納・記念品について学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 昔とはスタイルを変えつつも出会いの場であるお見合いと婚約の成立、日本独自の文化である結納の基本を学ぶ。				
2	<b>【授業テーマ】</b> ①衣装(洋装・和装)、アクセサリ、ブーケについて学ぶ。  <b>【到達目標】</b> ヘアメイクとしての仕事に身近な衣装についての知識を得る。ドレスのラインだけでなく、それに伴うヘッドアクセサリなどの衣装小物やブーケの取り扱いなどを理解する。			10	<b>【授業テーマ】</b> 結婚式業務について学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 成約に向けての業務、業者への手配業務について理解する。また結婚式の演出プランにや会場コーディネートについての知識を得る。				
3	<b>【授業テーマ】</b> ②衣装(洋装・和装)、アクセサリ、ブーケについて学ぶ。  <b>【到達目標】</b> ヘアメイクとしての仕事に身近な衣装についての知識を得る。ドレスのラインだけでなく、それに伴うヘッドアクセサリなどの衣装小物やブーケの取り扱いなどを理解する。			11	<b>【授業テーマ】</b> 直前対策  <b>【到達目標】</b> 今まで学習してきた内容を振り返りながら、過去問題をベースに検定対策を行う。				
4	<b>【授業テーマ】</b> ① 挙式について学ぶ(キリスト教式・神前式・仏教式・人前式)  <b>【到達目標】</b> 挙式について学ぶ。それぞれの歴史・しきたり・進行・特徴などを理解する			12	<b>【授業テーマ】</b> 直前対策  <b>【到達目標】</b> 今まで学習してきた内容を振り返りながら、過去問題をベースに検定対策を行う。				
5	<b>【授業テーマ】</b> ② 挙式について学ぶ(キリスト教式・神前式・仏教式・人前式)  <b>【到達目標】</b> 挙式について学ぶ。それぞれの歴史・しきたり・進行・特徴などを理解する			13	<b>【授業テーマ】</b> 直前対策/ABC検定  <b>【到達目標】</b> 今まで学習してきた内容を振り返りながら、過去問題をベースに検定対策を行う。				
6	<b>【授業テーマ】</b> 欧米の結婚式について学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 歴史や文化を知り、日本に取り入れられている風習などを理解し、演出として取り入れられているものを知る。			14	<b>【授業テーマ】</b> 検定答え合わせ・確認  <b>【到達目標】</b> 検定直前対策を行う。				
7	<b>【授業テーマ】</b> 日本の結婚式について学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 歴史や文化を知り、日本に取り入れられている風習などを理解する。			15	<b>【定期試験内容】</b> 定期試験  <b>【評価項目とフィードバック】</b>				
8	<b>【授業テーマ】</b> 前期復習  <b>【到達目標】</b> 今まで学習したことの復習。			<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	2年生		
講師名	岩淵太秀	講師プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校美容師科卒業。在学中はセットコンテストで道内で優勝し全国大会に出場。卒業後は札幌で美容師として勤務、その後美容ディーラーを経験し、現在に至る。						

【授業を通じての到達目標】

美容業界で通用するプロフェッショナルになるため、就職活動における基盤を作る  
社会人基礎力を身につけ、人間力を向上させる

【学習内容】

業界講話を通じてプロ意識を高める  
就職活動に必要な知識・スキルを身につけ、希望職種に就職する

【使用教科書・教材・参考図書】

HAND BOOK OF LIFE STYLE 他

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	<p>【授業テーマ】 2Sの目標を立てる、学校ルール説明 クラス目標再確認、目標達成中間チェック</p> <p>【到達目標】 夢を叶えるために、学校生活で何をすべきか目的・目標を明確にする グループワークを通じてクラス内でコミュニケーションをとれるようになる 人に想いを伝える力を身につける</p>	9	<p>【授業テーマ】 業界講話をつづいて、企業の理解を深める、</p> <p>【到達目標】 業界講話を通じて理解を深め、モチベーションをあげる</p>
2	<p>【授業テーマ】 社会人マナーについて(言葉遣い・人との関わり方)</p> <p>【到達目標】 グループワークを通じて社会人マナーの理解を深める TPOに応じたマナーを理解し、実践できるようにする</p>	10	<p>【授業テーマ】 冬休みの過ごし方・年賀状書き方・未内定者面談</p> <p>【到達目標】 今の自分の悩みに向き合う 内定先に年賀状を出す</p>
3	<p>【授業テーマ】 アートに触れ、感性を養う</p> <p>【到達目標】 アートに直接触れることによって、個人の感性を磨く 感じたことを今後の美容人生に生かしていく為に自分の中で整理し、周りと考えを共有 自分と周りの考えの差を知り、他者を思いやる力を身につける</p>	11	<p>【授業テーマ】 モチベーションをあげる(新入社員) 未内定者面談</p> <p>【到達目標】 社会人に必要な知識を学び、責任と自覚を持つ 就職してからすぐのイメージをつかむ</p>
4	<p>【授業テーマ】 将来の目標を立てよう！！</p> <p>【到達目標】 卒業までの目標、1年後の目標、5年後・・・目標を立てられるようにする</p>	12	<p>【授業テーマ】 ビジネスマナーについて</p> <p>【到達目標】 社会人に必要な知識を学び、責任と自覚を持つ 就職してからすぐのイメージをつかむ</p>
5	<p>【授業テーマ】 給与の内訳を理解しよう</p> <p>【到達目標】 一般常識を理解し、経済的な計画が立てられるようになる</p>	13	<p>【授業テーマ】 社会人基礎力</p> <p>【到達目標】 社会人になった自分をイメージできるようにする 社会に出て恥ずかしい思いをしないように、TPOに合わせたマナーを実践できるようになる</p>
6	<p>【授業テーマ】 社会人基礎力、社会に出てからのマナーを身につける</p> <p>【到達目標】 電話掛け、名刺交換等の社会に出てすぐに必要なマナーを身につける 社会に出る際の不安を少しでもなくす</p>	14	<p>【授業テーマ】 一流のマナーを学ぼう！</p> <p>【到達目標】 マナー講師を招いて、一流の所作とおもてなしを学ぶ 自分の足りないところを明確にし、解決法を考え実践する</p>
7	<p>【授業テーマ】 後期中間チェック 就活進み具合をチェックする</p> <p>【到達目標】 今までの授業内容を理解している(言葉遣い・経済) 当初に決めた目標についてモチベーションを保つ</p>	15	<p>【定期試験内容】 今までの授業内容から</p> <p>【評価項目とフィードバック】 今までの授業内容を理解している 卒業後の意気込み</p>
8	<p>【授業テーマ】 未内定面談と社会人基礎力</p> <p>【到達目標】 卒業後の自分の姿を思い描き、自分には何が必要か考え理解する 社会人基礎力の勉強を通して自身を持って社会に出れるよう教養を身につける</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●小テスト30点、中間チェック20点、定期試験50点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	

【履修に当たっての心構え・留意点】